

大きく変わる学校

聖徳大学附属女子が共学化、校名変更

光英ヴェリタス中学校



2021年4月より聖徳大学附属女子中高は、光英ヴェリタス中学校・高等学校として生まれ変わります。38年間の女子教育の成果をより発展させ、共学の進学校として新たなステージへと進みます。

建学の精神「和」を「独自性を発揮し共に成長する人間になる」とする新たな解釈のもと、人間教育を基盤にしながら、「答えを求める学びから問いを持つ学びへの変革」を合い言葉に「人・社会・自然に貢献する自覚と実践力のある次世代リーダー」を育成していきます。

1. VERITAS (ヴェリタス) の学び

「VERITAS」はラテン語で「真理」を意味します。表面的な事柄に流されず、常に物事の本質を見極めることで、「真理を求め、英知に富んだ人材」を育成します。そのため、光英ヴェリタスでは、真理を追究する探究的な学びを教育の2大コンテンツ、理数サイエンスと英語グローバルに広げていきます。

2. 理数サイエンス

「答えを求める学び」を土台に、「問いを持つ学び」への進化を実践します。正しい答えを求めるための基礎・基本学習はしっかりと行うとともに、豊富な理科実験や基礎・基本活用型の理数学習をもとに、「問いを持つ」→「仮説を立てる」→「実験やシミュレーションで検証する」といった、プロジェクト学習を積み重ね、レポートや論文執筆も行います。こうした学びのプロセスの積み重ねで、身の周りに無数にある科学の種に対し、良質な問いや仮説を持つ力を身に付けます。

3. 英語グローバル

英語は「読む」「聞く」「書く」「プレゼンテーション」「コミュニケーション」の4技能5領域を徹底的に鍛えていきます。グローバルな体験行事は、入学前英語研修から始まり、TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY)研修やオーストラリア修学旅行、ニュージーランドターム留学、イギリス語学研修などがあります。また、日々の授業だけでなく毎朝0時間目には英語多読に取り組み、終礼時には多読について生

徒の発表を全員で共有します。オンライン英会話による個別レッスンも行い、生きた英語に常に触れていきます。英語検定では、中3で準2級取得者60%、高1で2級60%、高2で全員2級以上を目指します。

4. フォローアップと進学対策

毎日の放課後、チューター制の自習室を開設し、生徒がその日の疑問を残したまま帰宅することがないように対応します。また学習の振り返りをきちんと行うことで、生徒が自分の学習課題に気づき自身で学ぶ力を育みます。進学対策では東大生指導プログラム、最難関大学進学プログラムを導入します。

5. VERITAS の学びを支える土台

生徒がひとり1台持つiPadを学習のみならず学校生活のあらゆる場面で活用します。また、東京理科大学やウェザーニュース社などと提携・連携し、学外の人材や英知を積極活用します。さらに、外部のコンクール・コンテスト等に積極的に参加して「学び」の成果を発信するなど、学校の中だけに留まらずに生徒が幅広く活躍する学校になります。

本校の伝統である「和」の精神と人間教育は、VERITASへ新たな形で継承されます。「小笠原流礼法」により日本文化と世界基準のマナーを学び、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。

6. 部活動について

男子の入学を機に、新たに野球部、サッカー一部、卓球部を新設するほか、地球規模の学外活動に向けてディベート部や模擬国連部も新設する予定です。